

埼玉県議会議員【草加市選出】

県議会ニュース

2020. 新年度版

草加市新里町 1422 番地
☎ 048-929-2366県政に関するご意見
ご要望をお寄せください。
TEL048-822-9606
FAX048-822-9408公明党埼玉県議団ホームページ
www.komei-saitama.com

がもつ徳明

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA

南 1 区草加市
県議会議員

蒲生 徳明

県民、草加市民の命を守るために、
コロナ対策に邁進しました！
又、お約束した東埼玉道路の延伸と
高速道路化事業を実現しました！
県民の皆様の声を大切に、
これからも全力で働きます！

県民の皆さま、そして地元草加市民の皆さま。日頃より私 蒲生 徳明の県政活動にご理解とご協力を賜り心より感謝を申し上げます。今回の県政報告は、新年度版として、埼玉県の新年度予算の概要と、コロナ対策への取り組み。そして、質問に立った 2 月定例会議予算委員会での質疑内容。

皆様にお約束した東埼玉道路の延伸と高速道路事業化の実現についてご報告致します。

今後も、県民の皆様から寄せられるご要望の実現と県政の発展に全力で取り組んでまいります。尚一層のご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願い申し上げます。

最近の主な活動から（前号での掲載以降の活動）

① コロナ対策

◆県民の要望を直接お聞きして、知事はじめ県執行部に迅速な要望活動（公明党県議団）

・新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急要望 2020.2.20
公明党県議団は、今もって感染終息の見通しが立たない新型コロナウイルス対策として、万全の対策を講じる様、大野知事へ緊急要望を行いました。



※県民市民、医療現場、各種事業者の皆様を直接お聞きして、
6 月 4 日の要望活動まで、9 回の現場発のオンタイムの要望を行いました。
(詳しくは公明党埼玉県議団ホームページで紹介しております)

◆マスクの贈呈をさせていただきました。

私の知り合いの事業者及び団体からマスクの贈呈依頼があり、地元草加市をはじめ、埼玉県、県立病院、事業者の所在する近隣市に贈呈させて頂きました。



①埼玉県大野知事を訪問・贈呈 在日本大韓民国民団埼玉地方本部 2020.02.04.20



②埼玉県橋本副知事、岩中病院事業管理者を訪問・贈呈 2020.02.05.01



③草加市長、八潮市長、草加市立病院を訪問・贈呈 2020.02.05.01

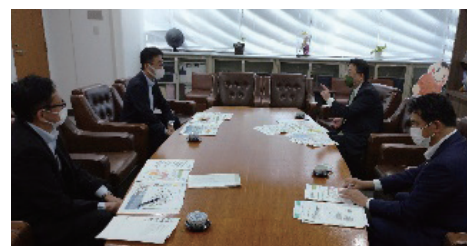
◆コロナ禍の最前線で奮闘する首長と意見交換 2020.02.06.7

西田参議院議員と共に、コロナ禍での国、県へのご要望と支援の在り方について、最前線に対応している草加市をはじめとする東部地域 5 市 1 町の首長と意見交換を行いました。

各首長より具体的な要望が寄せられました。実現に向け、公明党の国、地方のネットワークを活かし取り組みました。結果として第 2 次補正に反映されることができました。



【2 次補正に反映】



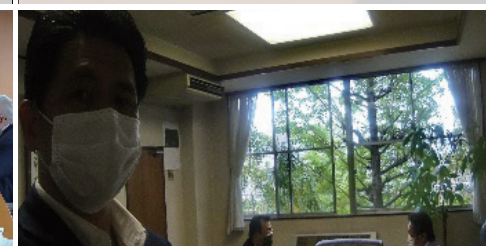
浅井草加市長



高橋越谷市長



木津三郷市長



大山八潮市長



中原吉川市長



鈴木松伏町長

◆5月12日より「草加八潮地域検査センター」(PCR検査センター)が始動。2020.05.11

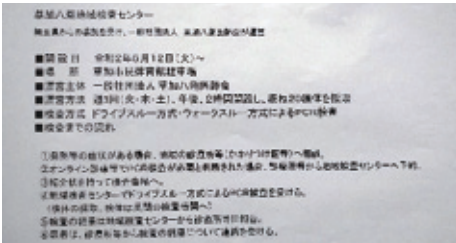
埼玉県から委託を受けて、一般社団法人 草加八潮医師会が、草加市、八潮市と連携し、草加保健所の協力を得て運営します。

私も、これまで、県の立場から浅井市長をはじめ市執行部と連携を取り、4月27日にはPCR検査センター担当の小谷副市長と共に埼玉県砂川副知事、県保健医療部と、開設に向けた意見交換を行うなど、積極的に協力をさせて頂きました。

PCR検査センターの開設で、検査数を増やすことができると共に、入り口の部分で、これまで保健所一元化で集中してきた保健所の仕事の一部が緩和されます。しかし、出口部分の検査は、保健所の皆様のお力がなければ運営できません。

私は、5月11日に草加保健所を訪問し、明日からのセンター開設に向けた御礼とお願いに伺いました。

今後、検査数が増えれば、陽性者も増えていきます。入院場所、軽度の方を受け入れるホテルや、運営するための資機材、マンパワーの整備など、正に、総力戦で「命を守る」行動が求められます。私も、明日から新たな決意で、一日も早い収束を願い、動きます。



草加八潮地域 PCR 検査センターが始動



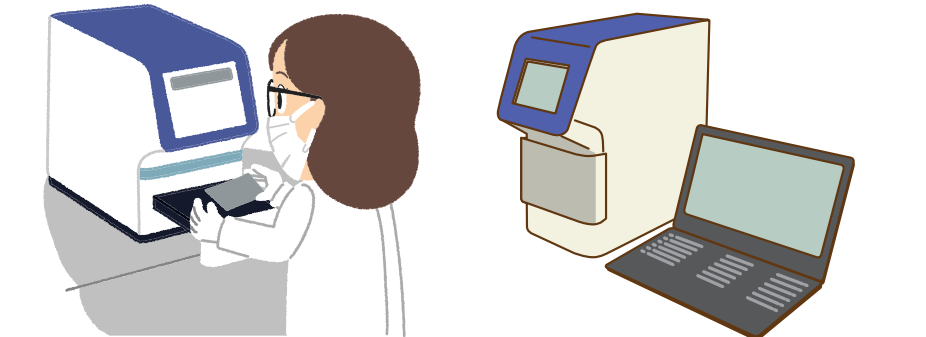
草加市小谷副市長と共に県保健医療部と意見交換



草加市小谷副市長と共に砂川副知事への要望活動



草加保健所を訪問



②その他の活動

◆SDG s の取り組みとストーカー対策を調査。(大阪府、京都市) 2020.02.06.07



◆埼玉スマートの防災訓練に知事同行。2020.02.12

危機管理・大規模災害対策特別委員会副委員長として参加、県議会を代表して挨拶。



◆浅井市長と総務省に要望活動を行いました。2020.02.20

草加市の進める、市民の生活を守る事業の実現（小中体育館へのエアコン設置事業、草加消防署・消防局機能含む）のために、総務省財政課長等と懇談。

繋いで頂いた西田まこと参議院議員の同席のもと、要望内容を詳細にお伝えできました。



◆「県東南部地域道路研究会」が発足しました。2020.03.18

草加、三郷、八潮の3市長が話し合い、道路を核として関連事業をスムーズに進めるための「東南部地域道路研究会」の発足式が行われ、私も一員として参加しました。

各市エリアでは、地元草加市柿木地域の産業団地「草加柿木フーズサイト」の建設、そうか公園の有効活用、又、外環八潮PAの事業化、三郷スマートインターチェンジのフルインター化、道の駅の検討などが進められています。

今後、国土交通省、ネクスコ東日本、県と連携し、事業化を着実に進めてまいります。



◆国交省北首都国道事務所を訪問 2020.05.27

西田参議院議員と共に、草加市にある国交省北首都国道事務所を訪問し、4月に着任された佐藤所長と、草加市をはじめ東部地域の道路整備等について意見交換を行いました。



◆国交省池田道路局長を訪問し、意見交換を行いました。2020.06.01

西田参議院議員、大山八潮市長と共に、国土交通省道路局 池田道路局長を訪問し、草加市をはじめとする東南部地域の渋滞緩和策と、新たな横軸道路の整備について意見交換を行いました。



◆県防災航空センター、中央防災基地、スーパーアリーナを視察。2020.06.03

県の防災関連施設を公明党県議団で訪問し、コロナと災害の複合災害に備えた県の災害備蓄状況や、危機管理体制について意見交換を行いました。



◆今後の地域づくりについて東部地域5市1町の首長と意見交換 2020.06.26

西田参議院議員と共に、今後のまちづくりの課題等について地元草加市をはじめ、5市1町の首長と意見交換を行いました。



③ 議会活動・質問

◎令和2年2月定例会は2月20日から3月27日まで行われました。
◆2月定例議会 予算特別委員会で質疑にたちました。

【質疑の概要（知事質問のみ掲載）】

- 1 県全体の道路整備について（知事）
 - ・本県道路の現状を踏まえ、今後の道路整備の在り方、目指すべき姿をどのように考えているのか。
 - ・渋滞緩和だけではなく、大規模災害時に備えるためにも東西方向の新たな高速道路ネットワークが必要と考えるのいかか。
 - ・知事の目指す姿の実現に向けて今後、埼玉県全体の道路整備をどの様に進めていくのか。
- 2 新たなまちづくりに向けた次世代モビリティサービスの活用について（知事）
 - ・さいたま市と東南部の5市1町による『新たなモビリティサービスによる「まち」づくり協議会』が設立され、活動が進められている。この協議会が目指す新たなまちづくりに向けた次世代モビリティサービスの活用についてどう考え、どう支援していくのか、知事の御所見を伺う。
- 3 地方法人課税の見直しについて（知事）
 - ・平成31年度税制改正で特別法人事業税・譲与税制度が創設されたが、本県ではどの程度の歳入増を見込んでいるのか。
 - ・今回の地方法人課税の偏在是正措置について、知事はどう評価しているのか。
 - ・歳入が増える分については、地域の再生や活性化など、是非埼玉を元気にするための施策に役立てていただきたいと考えている。知事は、地方法人課税の偏在是正措置により歳入が増額となることを踏まえ、どのような分野の施策に力を入れていきたいのか。

④（その他コロナ関連情報）

◎新型コロナウイルス感染症専用電話窓口について

1日に開設された新型コロナウイルス専用電話窓口は10日から回線が倍になる予定。これも先月20日に公明党県議団が行った緊急要望の際「増加が見込まれる電話相談の体制を強化すること」との内容が反映されています。以下、埼玉県ホームページから抜粋します。
電話番号：0570-783-770
受付時間：24時間（土日・祝日も実施）
※聴覚に障害のある方をはじめ、電話での御相談が難しい方は、FAXを御利用ください。
（FAXによる御相談の場合、回答までにお時間をいただく場合があります。）
保健医療部保健医療政策課 FAX：048（830）480



◎設立に尽力した県がんワンストップセンター電話相談開始

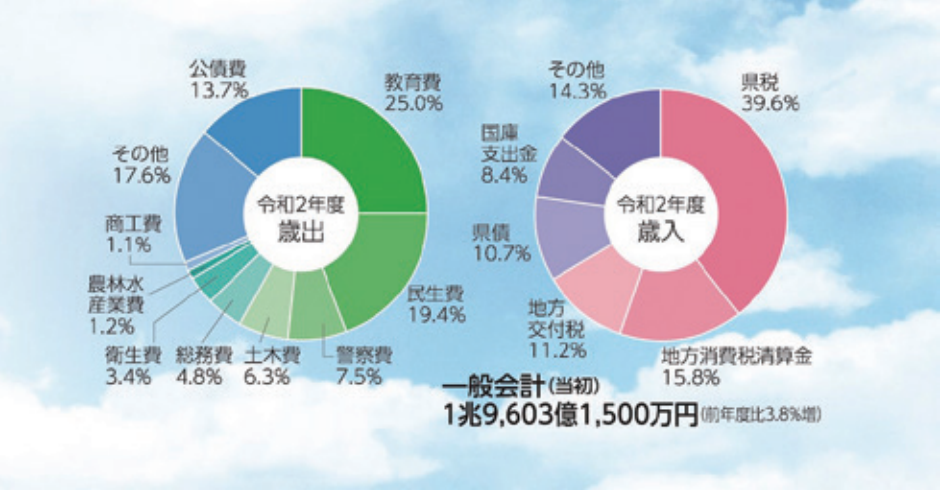
2020.06.26

新型コロナの流行に伴い、対面による「がんワンストップ相談」を休止してきましたが、電話による相談形式で再開することとなりました。「がんになって、仕事を続けようか迷っている」「症状・副作用が心配」など幅広い相談に、がんの診療や相談に従事している専門家が対応します。TEL048-830-3651
働きながらがんを治療中でお悩みをお持ちの方は、是非ご利用ください。



⑤【令和2年度埼玉県一般会計当初予算の概要】
彩の国だよりから一部転載

- ・日本一暮らしやすい埼玉県の実現へ 2020 SAITAMA
- ・安心・元気のスタートアップ予算



(1)安心・安全しっかり確保
(災害に強い埼玉の構築)

- ◇災害対策本部の機能強化（埼玉版 FEMA（フィーマ））
米国連邦緊急事態管理庁（FEMA）を参考に平時から災害ごとのシナリオを作成し、図上訓練を繰り返すことで、関係機関と協力できる体制を構築。
- ◇県土強靱化緊急治水対策プロジェクト
令和元年東日本台風の被害を教訓に、河川インフラの強靱化などを実施し、災害に強い県土づくりの推進。
- (医療体制の充実)
- ◇ドクターカーの広域運行拠点整備
県の東西2カ所の救命救急センターに365日24時間体制のドクターカー広域運行拠点を整備。

(2)持続可能な成長・発展

- （東京2020オリンピック・パラリンピックの成功に向けた取り組み）
- ◇大会開催準備の推進
大会を身近に体験してもらうとともに、埼玉の魅力を世界に発信するための準備を推進。
また、都市ボランティアによるおもてなしなどにより、国内外からの来県者を温かくお迎えする準備を推進。
 - ◇埼玉県ゆかりの3偉人関連事業
令和3年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公に選ばれた渋沢栄一をはじめ、塙保己一や荻野吟子といった埼玉県ゆかりの偉人に関連したイベントなどを通じ、埼玉の魅力を発信。
 - (埼玉の稼げる力の向上)
 - ◇スマート農林業の推進
ドローンなどのロボット技術やICT（情報通信技術）を活用して省力化・効率化を図るスマート農林業を推進。

(未来を見据えた基盤づくり)

- ◇「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」の推進
「都市機能の集約（コンパクト）」、「AI、IoT、5Gなどの新技術の活用（スマート）」「災害に強い（レジリエント）」の三つをコンセプトにして市町村とまちづくりを協働して行う埼玉版スーパー・シティプロジェクトの推進に向けた調査・検討。



(3) 誰もがいきいき活躍

(人生 100 年を見据えたシニアの活躍推進)

◇埼玉県コバトン健康マイレージの推進

スマートフォンアプリの機能向上や、ウォーキングだけでなくさまざまな場面でポイントがたまる仕組みの導入など、より魅力を高め、参加者の拡大を図るとともに、高齢者のスポーツ参加を支援。



(子育て応援埼玉)

◇待機児童対策の充実

保育サービスの受け入れ枠の拡大、保育人材確保、病児保育の充実。

◇私立高校における教育費負担軽減のための助成

全国トップクラスの補助をさらに拡大し、授業料の負担軽減を充実。

(誰もが活躍できる社会の実現)

◇働きやすい職場環境の整備

働き方改革を進めるとともに、男女が共に働きやすい職場環境づくりや女性のキャリアアップ支援、男性の育児休業取得を促進。

◇就職氷河期世代への支援

非正規雇用の方などの正社員化支援と職場定着に向けた企業支援を推進。

◆新型コロナウイルス 埼玉県緊急対応策

感染拡大に歯止めをかけるため、総額 36 億円規模の対策を速やかに実施。

予算措置第 1 弾

◇令和元年度予備費（8 千 3 百万円）

国や全国の自治体に先駆けて 24 時間体制の県民相談窓口を整備するとともに、医療機関の機器整備など体制を強化。

予算措置第 2 弾

◇令和 2 年度補正（4 億 5 千 3 百万円）

4 月以降も相談・検査体制を継続するとともに、入院医療費の公費負担など医療提供体制のさらなる強化をの推進。

予算措置第 3 弾

◇令和元年度補正（23 億 8 千 8 百万円）

◇令和 2 年度補正（6 億 6 千 6 百万円）

◎国の緊急対応策などを踏まえた新たな措置。

- ・感染拡大防止対策、検査体制・医療提供体制の整備。
- ・介護施設などの感染拡大防止のため、施設の洗浄、多床室の個室化改修を支援。
- ・介護施設、医療機関などのマスク・消毒液を緊急調達します。保険適用 PCR 検査の公費負担。入院医療機関の体制強化のため、体外式膜型人工肺（ECMO）などを整備。

◎学校の臨時休業に伴って生じる課題への対応

- ・生活福祉資金貸付制度を拡充。

◎中小企業への新たな支援

県制度融資の融資利率を引き下げるとともに、信用保証付き融資の返済期間を延長。

⑥東埼玉道路の新規事業化の実現

☆県民草加市民との約束であった東埼玉道路の延伸高速事業化を実現

A. 事業概要

起終点：八潮市八條～松伏町田島

延長等：9. 5km（4 車線、設計速度 時速 80km）

全体事業費：約 2000 億円（有料道路事業 NEXCO 東日本 170 億円、残りは公共事業）

B. 事業費 2,000 億円は、直轄道路のなかでもずば抜けています。

令和 2 年度（直轄道路事業）新規事業化箇所 ベスト 5

都道府県	路線名	区間	延長	全体事業費
埼玉県	一般国道 4 号	東埼玉道路（八潮～松伏）	9.5km	2,000 億円
三重県	一般国道 23 号	鈴鹿四日市道路	7.5km	840 億円
石川県	一般国道 8 号	海側幹線（今町～鞍月）	5.6km	650 億円
長野県	一般国道 153 号	伊駒アルプスロード	11.6km	620 億円
熊本県	一般国道 57 号	大津熊本道路	9.1km	530 億円

C. なぜ延伸高速事業化が求められるのか。

草加市をはじめ県東南部地域の抱える課題

- (イ) 渋滞緩和…埼玉県東部地域には、工場や物流の新規立地が約 1. 5 倍（2015 → 2018）増加、交通量の増大が見込まれる。交通量が多く、長トリップ率は 5 割。
- (ロ) 高速道路へのアクセス…工業団地の新規整備が進むものの IC から 15 分圏域外が多く、物流交通の高速アクセス性が低い。
- (ハ) 災害に対して脆弱…国道 4 号は浸水想定区域を通過。災害時には、越谷レイクタウンが重要拠点になるため、高速道路と連携した物資輸送ルートの構築が必要。

D. 事業化の効果は

効果 1：物流の効率化⇒埼玉県東部地域と千葉県湾岸地区へのアクセス性が向上（東埼玉テクノポリス～高谷 JCT の所要時間は、現況の約 55 分から約 30 分に）

効果 2：高速道路アクセスの向上⇒東部地域の高速 IC15 分力バー圏は、現況の 44% から 69% へと向上（B / C は 1. 5）

効果 3：災害時の支援⇒浸水想定区域を回避する道路ネットワークとして機能し、災害時の救援活動・物資輸送に寄与する。

航空写真



東埼玉道路 平面図

